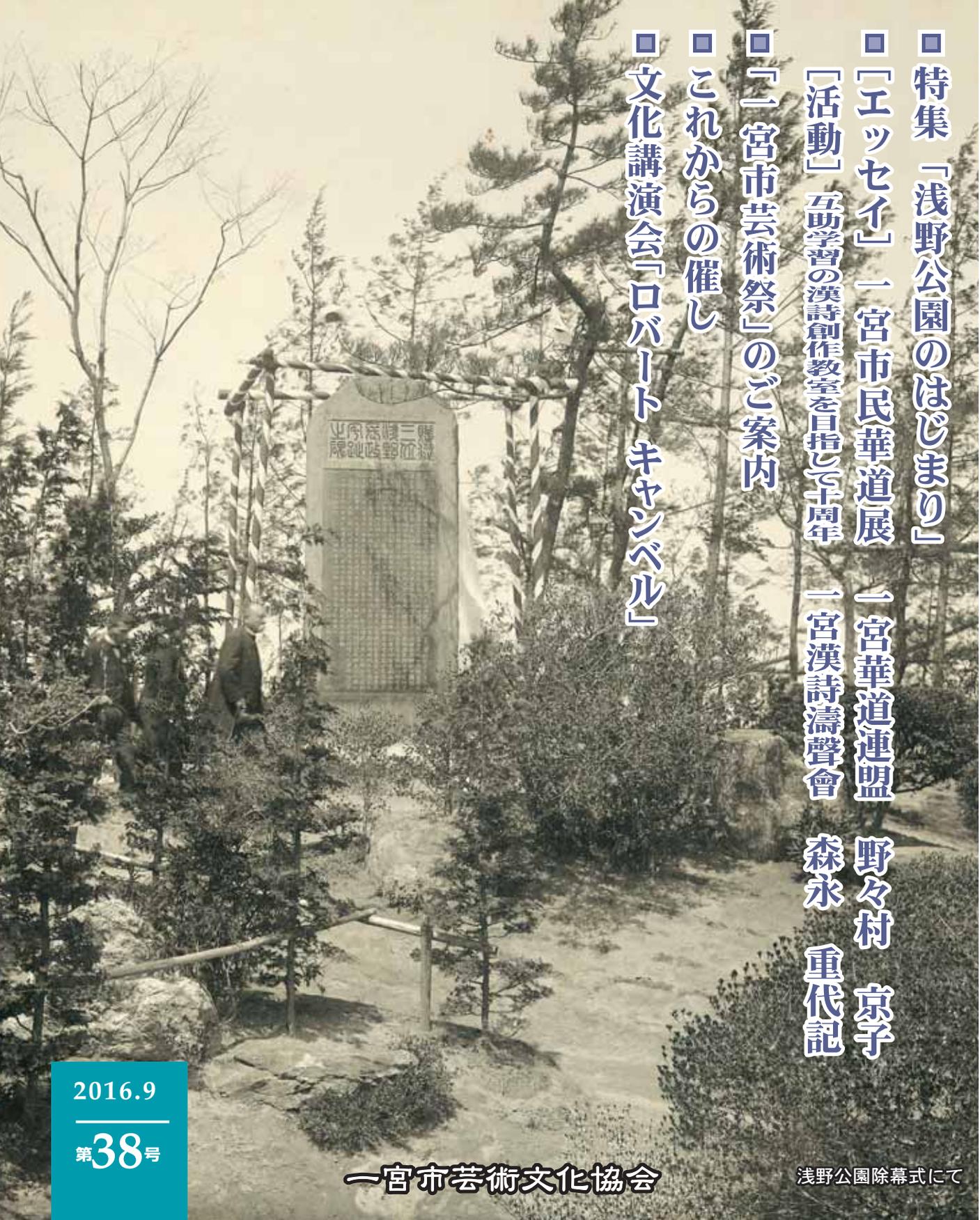


いちみやの芸術文化



■ 特集 「浅野公園のはじまり」

■ 「エッセイ」 一宮市民華道展

「活動」 互助学習の漢詩創作教室を旨として十周年

■ 「一宮市芸術祭」のご案内

■ これからの催し

■ 文化講演会「ロバート キャンベル」

一宮華道連盟

一宮漢詩濤聲會

野々村 京子

森永 重代記

2016.9

第38号

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

浅野公園のはじまり



浅野公園（一宮市浅野）は一宮市の東部を南北に走る国道二十二号線、通称「名岐バイパス」の浅野交差点を東へ二〇〇mほど進んだ北側に位置します。この公園は「浅野長政公宅址」として知られ、毎年四月下旬に開催される「つつじ祭」には多くの人で賑わいます。



▲平成28年つつじ祭にて(写真提供:市経済振興課)



▲平成28年つつじ祭にて(写真提供:市経済振興課)

浅野公園が「浅野長政公宅址」とされているのは、豊臣政権末期に五奉行の筆頭を務めた浅野長政のゆかりの地、とさ

れているからです。長政は、天文十六年（一五四七）尾張に父・安井重継、母・浅野長詮の女の子として生まれました。その後、叔父にあたる浅野長勝（丹羽郡浅野村）の養子となりました。この長勝の居所が、現在の「浅野公園」付近にあったのです。

浅野公園のはじまり

明治四十四年（一九一七）、この浅野の地に長政の養父長勝の屋敷があったことから、長政ゆかりの地に公園整備の機運が高まりました。のちに浅野史蹟顕彰会の中心メンバーとなる森徳一郎は、『愛知県丹羽郡誌』の文書資料蒐集を丹羽郡教育会から委嘱されたことを契機に、浅野氏研究に没頭しました。

また、大正二年（一九一三）三月に愛知県知事に就任した松井茂は三英傑の史跡保存顕彰政策に努め、その手段として公園整備を進めていきました。八月には愛知県史編纂主任田部井柳

太郎によって宅跡視察や講演が行われ、九月二十二日付の扶桑新聞には「長政の遺蹟調査」という見出しで、森等による遺蹟調査や跡地の計画が報道されました。その翌年の大正三年（一九一四）には、丹羽郡長を会長とする浅野史蹟顕彰会が組織されました。

同年十二月頃から公園整備に向けて動き出しました。測量は丹羽郡の技師伊藤金之右衛門、設計は愛知県営繕係の技師西原吉次郎が行いました。公園整備については埋立てや土塁などの造成工事（第一期）と、樹木植栽などの庭園整備（第二期）の二期に区分して施工されました。大正四年（一九一五）六月二十二日付の扶桑新聞では、浅野の人々が農繁期にも関わらず、日々公園整備の工事に従事している様子を伝えています。また、扶桑村（現扶桑町）や西成村の青年団員なども工事に従事しました。

大正六年（一九一七）三月には、日比谷公園や明治神宮の設計に携わった東京帝国大学農科大学教授本多静六が松井知事とともに現地を訪れ、公園整備について助言したとされています。

このように浅野公園は浅野の人々をはじめ、近隣の村々の青年団員などの尽力によって工事を終え、大正六年四月二十五日に開園しました。その後、大正十年（一九二一）十二月頃から公園内に建物一棟建築の動きがあり、西原技師、名古屋の松尾流・黒田宗啓等指導のもと、大正十

三年（一九二四）十一月十六日には会館「有終堂」が竣工し、浅野史蹟顕彰十年記念会が行われました。ちなみに、大正十五年（一九二六）以降、松井知事自身も顧問として顕彰会のメンバーになっていました。

顕彰会は昭和十五年（一九四〇）に財団法人を設立し公園管理をしていましたが、終戦後の昭和二十五年（一九五〇）八月には、顕彰会から一宮市へと浅野公園の管理が引き継がれました。

つつじ祭のはじまり

浅野公園では、毎年春につつじ祭が開催されています。開催にいたった経緯はよく分かっていますが、第一回は昭和五十三年（一九七八）に開催されました。開催趣旨には「浅野公園の各種のつつじの美しさを市民や一般観光客に観賞していただくとともに、浅野公園ゆかりの名士の遺徳をしのび観光開発の一助と地域産業の振興ならびに文化の向上に寄与する目的とする」とあり、既に昭和五十三年以前に、つつじが植栽されていたことがわかります。

平成二十三年十月には、浅野長勝の養女として寧々がいたことから、寧々ゆかりの京都・高台寺からホンキリシマツツジとシロヤブツバキが贈られ、植栽されています。

大正時代の浅野公園



▲大正6年冬撮影 雪景色の浅野公園
（「記念写真帖」浅野史蹟顕彰会より）
※開園を4月25日に控え、公園整備が終盤を迎える。写真からかなりの積雪があることがわかる。



▲大正2年9月21日撮影
（「記念写真帖」浅野史蹟顕彰会より）

※大正2年8月20日、愛知県史編纂主任田部井が浅野において講演した翌日、浅野の人々によって小高い塚が築かれ、一本杉と標柱「浅野長政公宅址」が建てられた。大正2年10月24日には、浅野長勤（ながこと）、松井愛知県知事、岸田丹羽郡長、鷲津浅野村村長等が訪れている。



▲大正6年4月25日撮影 浅野公園除幕開園式
（「記念写真帖」浅野史蹟顕彰会より）

※浅野長勤をはじめ、旧尾州徳川家・旧紀州徳川家の当主等多くの関係者が浅野公園除幕開園式に訪れた。



▲大正5年冬撮影 公園入り口、南側から撮影
（「記念写真帖」浅野史蹟顕彰会より）

※浅野公園の周辺は田、畑が広がっていたことがわかる。第一期の造成工事が終り、第二期の樹木植栽などの庭園整備が進められている。



▲大正13年10月頃撮影か
（「記念写真帖」浅野史蹟顕彰会より）

※完成した有終堂とその庭園。大正13年11月16日に有終堂竣工式及び史蹟顕彰10年記念祭が執り行われた。

このような歴史をたどってきた浅野公園は、平成二十九年（二〇一七）に開園一〇〇周年、つつじ祭も第四十回を迎えます。公園を守り伝えようとする顕彰会や地域の方々の想いは、昔と変わらずこれからも人々の心の中で生き続けていきます。

一宮市博物館 学芸員 石黒智教

※一宮市博物館では十月八日（土）から十一月十七日（日）まで、特別展「三英傑とともに歩んだ浅野長政〜いちのみやの戦国時代〜」を開催します。

【註】長政は「弥兵衛」「弾正少弼」「長吉」を名乗っていました。慶長二年（一五九七）頃を境に「長政」を名乗ります。ここでは便宜上、長政とします。【参考文献】森徳一郎「浅野史蹟顕彰私記」森徳一郎編「浅野史蹟輯録（浅野史蹟顕彰会一九四一年）」石川寛「資料紹介」三大公園の創造―中村公園改良案、清洲公園設計案、岡崎公園設計案の紹介―（「愛知県史研究」第十五号、二〇一一年）相田文三「浅野長政の居所と行動」（藤井讓治編「織豊期主要人物居所集成」思文閣、二〇一六年）

一宮市民華道展

華道部門 一宮華道連盟 野々村 京子

華道。いけ花。日本の伝統文化として、数百年も受け継がれ現代に至り、四季折々の植物の変化で、私達の生活に潤いや安らぎを与えてくれます。昭和三十七年に一宮華道連盟が結成され、一宮スポーツ文化センターの前身である一宮市体育館で第一回の一宮市民華道展が開催されました。諸先輩の先生方の御努力により今日に引き継



一宮市民華道展

いでいただいたお陰で、現在も一年に一度ですが市民華道展を開催して、五十四年目を迎えます。

十一流派で二百名程の会員の方々が、日頃のお稽古の成果をそれぞれの流儀花や現代花を発表し、先生方には各部屋に一瓶ずつ大作を活けていただいて、会場に華やかさを出しております。季節感のある現代花、造形の花、古典花、可愛い小品花等、力作が並び素晴らしいいけ花展です。

毎回、他流の先生方や会員の方々の交流もでき、勉強させて頂くことも多々ありまして、二日間楽しい時間を過ごさせていただいております。いけ花は日本人の生活の中にある供花から始まりました。その後歴史を経て、環境や生活形態も変化して最近では建築様式も大きく変わりました。何よりも花の種類が多くなり、珍しい輸入花や季節には関係なく欲しい花が手に入るようになって、いけ花も変わりつつありますが、いけ花人にとって

花をいづくしむ心は変わらない所と思います。この文化を次の世代にも受け継いでいってもらいたいと、市民華道展には子供いけ花体験教室を開催して、華道の普及に務めております。毎回予想以上の応募があり、嬉しい悲鳴をあげております。子供達は花の切り方や長さ、型等を教わり、真剣に取り組んでとても楽しそうに活け上げています。機会があったらまたいけ花をやってみたいとの声を聞かせてもらっています。

子供達への普及のため、一宮華道連盟から市内の小学校に、クラブ活動のいけ花の指導にも行かせていただいております。子供達の



子供いけ花体験教室

素直な心にいけ花の持つ優しさや儂さ、思いやり、また力強さ等を伝えていければと思っております。日本人の心に流れる花を愛でる気持ちを大切に、先人からの教えを守り、いけ花を楽しんでいきたいと思っております。



互助学習の漢詩創作教室を目指して十周年

詩部門 一宮漢詩瀟聲會 森永 重代記

「一宮の漢詩の灯を消すな」と題して、豊島図書館主催の漢詩講座が開かれて今年で丁度三十年。開講の翌年から瀟聲會を創設し、自主的に漢詩講座を運営し、今は東洋文化振興会会長の三島徹先生による「唐詩三百首」の講読講座を開催している。



三島徹先生漢詩講読講座

その会の中で漢詩の創作に関心がある人に声を掛けて、漢詩創作演習教室を創設した。会員間で互いの技量に応じて学び教え合う互助学習会式の教室を目論み、創作

に熟達された会員の指導を仰ぎたかったが、高齢で辞退され、初心者ばかりで始めて十年になる。

教室を開いた初日、漢文の基礎から七言絶句の形式など、作法の説明を終えた。宿題として次回に七字一句を持ち寄ることにしたところ、全員が起承転結らしき句を四句並べて提示され、作詩の意欲を見る思いがした。提示された句には語順の違いを散見するも、月一回の教室で漢文の記述訓練に時間を割けば、作詩意欲を殺してしまふ恐れがある。そのため基本的な作法の学習は自宅での各自の努力に任せた。教室では持ち寄られた作品を全て公開し、誤りを訂正する過程で、語順や平仄の配置、起句・承句・転句・結句の構成方法などが学習できるように心掛けた。

今日でもなお、掲示された詩に語順の違いを見る時があるが、嬉しいことは、添削する人とされる人とのやり取りを第三者が質問

するようになったことである。教室の全員が添削中のやり取りに心を寄せ、それぞれが作詩の力を養える雰囲気になってきている。

教室の前面に提示された作品を、互いに評価し合う互助学習式の教室の実現が遠くはないようである。漢詩は漢音で読んだ時に、それぞれの句の中でのリズムや詩全体を通してのリズムが生じる様に、平韻の声調を持つ漢字と仄韻の声調を持つ漢字の配置が工夫されている。作詩は思いついた言葉が決められた音韻の位置に当て嵌まるかどうか漢字の韻を調べながら、句末から三字、二字、二字の言葉を組み上げるところにパズル的な楽しさがある。

漢字の右側に音韻記号を付した詩を例示する。七十八歳から作詩を始め、米寿を迎えられた今も毎

月作品を提示される方の作品である。一日中家に閉じ込められた日の雨上がり喜び詠った詩である。昨年、漢詩創作教室十周年記念発表会を開催し、全日本漢詩連盟会長の石川忠久先生に特別講演をして頂き、市内外から九十八名の参加者があり、好評を得た。



漢詩創作教室10周年記念発表会
石川忠久先生を囲んで（平成27年12月3日）

初夏閑日

小島 昭子

曇雲濃淡景昏蒙

曇雲濃淡

景昏蒙

閑暇聊怨執耒躬

閑暇聊か怨む

執耒の躬には

雨歇午鐘榴樹上

雨歇んで

午鐘榴樹の上

花燃初夏夕陽中

花は燃ゆ

初夏夕陽の中

※○や△は平韻 ●や▲は仄韻 ◎押韻 三角記号は平韻でも仄韻でも許される位置

第71回 一宮市芸術祭

開催期間
2016年9月～12月

今年の「一宮市芸術祭」は次のとおり開催されます。ぜひお出掛けください。

行事	期日	時間	開催場所	入場料 参加料等	団体
2016 一宮美術作家協会展	8月27日(土) 9月11日(日) (29日・5日を除く)	AM9:30～PM5:00 (11日はPM4:30まで)	一宮市博物館	博物館常設展 観覧料200円	一宮美術作家協会
楽しく描こう会 水彩画展	9月6日(火) ～11日(日)	AM9:00～PM5:00 (6日はPM1:00～、 11日はPM4:00まで)	尾西歴史民俗 資料館	入場無料	楽しく描こう会
一宮写真協会 選抜写真展	9月15日(木) ～25日(日) (20日・23日を除く)	AM9:30～PM5:00	一宮市博物館	博物館常設展 観覧料200円	一宮写真協会
第27回 手つむぎ・染め・織り展	9月21日(水) ～25日(日) (23日を除く)	AM10:00～PM5:00 (25日はPM4:00まで)	玉堂記念 木曾川図書館	入場無料	尾張もめん伝承会
第52回麗筆会	9月23日(金) ～25日(日)	AM10:00～PM5:00 (25日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター		麗筆会
第18回 能狂言面作品展	9月27日(火) 10月2日(日)	AM10:00～PM4:30 (27日はPM1:00～、 2日はPM4:00まで)	玉堂記念 木曾川図書館		尾西面打会
土筆の会展	10月6日(木) ～9日(日)	AM9:30～PM5:00 (9日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター	500円	土筆の会
第16回 山ぶどうの会展			山ぶどうの会		
狂俳大会	10月8日(土)	PM1:00～PM5:00	葉栗公民館	500円	一宮狂俳壇連盟
尾西俳句大会	10月10日(祝)		尾西生涯 学習センター		尾西俳句会
花畑スケッチブック展	10月13日(木) ～20日(木) (16日を除く)	AM10:00～PM4:30 (20日はAM11:00まで)	ふれあいセンター たぐみ	入場無料	花畑
いちのみや文芸2016 発刊	10月15日(土)	1冊 800円 随想・随筆、現代詩、漢詩、短歌、俳句、川柳、狂俳の市民文芸集			
文化講演会		PM1:30～PM3:00	尾西市民会館	入場無料 (要入場整理券)	講師：ロバートキャンベルさん (日本文学研究者・東京大学大学院教授)
市民茶会	10月16日(日)	AM10:00～PM3:00	真清田神社	1,800円	一宮茶道協会
一宮シティ合奏団 第23回定期演奏会		PM2:00～PM4:00	尾西市民会館	500円	一宮シティ合奏団
秋季謡曲大会	10月23日(日)	AM9:30～PM4:30	産業体育館	入場無料	一宮謡曲同好会
第18回 一宮市民音楽会		PM2:00～PM4:00	アイプラザ宮	1,500円 高校生以下無料	一宮第九をうたう会
楽陶会 & 日中古墨書道展	10月25日(火) ～30日(日)	AM9:30～PM5:00 (25日はAM11:00～、 30日はPM4:30まで)	一宮市博物館	入場無料	楽陶会・日中古墨書道 友好協会尾張支部
第12回 あざみの会 絵画展	10月27日(木) ～30日(日)	AM9:30～PM5:00 (27日はPM1:00～、 30日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター		あざみの会
ゆずの会作品展		AM9:30～PM5:00 (27日はPM1:00～)			ゆずの会
尾西ウィンドオーケストラ 第79回定期演奏会	10月30日(日)	PM2:00～PM4:00	尾西市民会館	一般1,000円 中学生以下無料	尾西ウィンドオーケストラ
一宮吟剣詩舞道大会	11月3日(祝)	AM9:20～PM4:30	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	一宮吟剣詩舞協会
俳句大会		AM11:00～PM4:30		500円	一宮俳句協会

行事	期日	時間	開催場所	入場料 参加料等	団体
第71回 一宮市民華道展	11月5日(土) ～6日(日)	AM10:00～PM4:00 (6日はPM3:30まで)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	一宮華道連盟
一宮現代詩祭					一宮現代詩協会
合同舞踊公演	11月6日(日)	PM1:00～PM4:00	一宮市民会館	1,000円	一宮舞踊協会
第44回一宮音楽家協会 定期演奏会		PM2:00～PM4:00	尾西市民会館	500円	一宮音楽家協会
第18回桃墨会展	11月7日(月) ～11日(金)	AM9:00～PM5:00	尾西信用金庫 事務センター	入場無料	桃 墨 会
一宮茶道連盟茶会	11月13日(日)	AM9:00～PM3:00	妙興寺	8,000円	一宮茶道連盟
市民短歌大会		PM1:00～PM4:30	一宮スポーツ 文化センター	500円	真清短歌会
水絵の会展	11月14日(月) ～18日(金)	AM9:00～PM5:00 (14日はPM1:00～、 18日はPM4:00まで)	尾西信用金庫 事務センター	入場無料	水 絵 の 会
尾西華道展・お茶会	11月19日(土) ～20日(日)	AM10:00～PM4:00 (お茶会はPM3:00まで)	尾西市民会館		尾西華道展・お茶会 実行委員会
尾西芸能祭		PM0:00～PM3:00			尾西芸能祭実行委員会
一宮三曲協会 定期演奏会	11月23日(祝)	AM10:30～PM4:30	木曾川文化会館		一宮三曲協会
第62回中部日本書道会 一宮支部展	11月26日(土) ～27日(日)	AM10:00～PM4:00 (26日はPM1:00～)	一宮スポーツ 文化センター		公益社団法人 中部日本書道会一宮支部
第45回中部日本書道会 一宮支部学生書道展					
會山流樹徳吟詠会 山瑩会練成会	11月27日(日)	AM9:45～PM4:00	尾西商工会館		山 瑩 会
一宮合唱祭		PM0:30～PM4:30	尾西市民会館		一宮合唱協会
第32回一面会 能・狂言面作品展	12月2日(金) ～4日(日)	AM10:00～PM6:00 (2日はPM0:00～、 4日はPM4:00まで)	アイブラザー宮		一 面 会
一宮市民吹奏楽団 第41回定期演奏会	12月4日(日)	PM1:30～PM3:30	一宮市民会館		前売400円 当日500円
第14回 尾西作家協会展	12月6日(火) ～11日(日)	AM9:00～PM5:00 (6日はPM1:00～、 11日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館	入場無料	尾西作家協会
第10回 パレット 水彩画展	12月13日(火) ～18日(日)	AM10:00～PM5:00 (13日はPM0:00～、 18日はPM4:00まで)	玉堂記念 木曾川図書館		パレット会
第13回 尾西展	12月14日(水) ～18日(日)	AM9:00～PM5:00 (18日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館		尾西美術連合
第6回 雅楽フェスティバル	12月18日(日)	PM1:30～PM3:30	一宮市民会館		特定非営利活動法人 旭 雅 楽 会
クリスマスコンサート		PM2:00～PM4:00	尾西市民会館		安美&コンプリオ
三美会展	12月20日(火) ～25日(日)	AM9:00～PM5:00 (20日はPM1:00～、 25日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館		グループ 絵ごころ三美会
ガリバンバン 水彩画展		AM9:00～PM5:00 (20日はPM1:00～、 25日はPM3:30まで)			尾西ガリバンバンの会

文化情報



「ハーヴェスト」 素材：花崗岩（赤御影石） 場所：青森県弘前市 真下 賢一

《市および市内公共施設の催し予定》

- ※一宮市博物館・三岸節子記念美術館・尾西歴史民俗資料館について
- 入館は午後4時30分まで
- 月曜休館（月曜日が休日の場合は開館）、休日の翌日休館

一宮市博物館
☎(46)3215

企画展「一宮写真協会選抜写真展」
日時 ● 9月15日(木)～25日(日)

午前9時30分～午後5時
内容 ● 感性に裏打ちされた表現力で、熱い思いを込めた写真作品を展示します。

観覧料 ● 一般 200円
高大生 100円
小中生 50円

※市内小中学生・65歳以上無料（以下同し）

モバイル・トリエンナーレ
「旅する展覧会」

日時 ● 9月16日(金)～19日(祝)

午前9時30分～午後5時
内容 ● あいちトリエンナーレ2016参加アーティストの本展出品作とは異なる作品を展示し、ワークショップなどを実施します。

観覧料 ● 無料
特別展「三英傑とともに歩んだ 浅野長政」

日時 ● 10月8日(土)～11月27日(日)

午前9時30分～午後5時
内容 ● 浅野長政の生涯を三英傑との関わりからたどるとともに、浅野公園開園100周年にも焦点をあてて紹介します。

観覧料 ● 一般 500円
高大生 300円
小中生 200円

企画展「2016 一宮市現代作家美術秀選展」

日時 ● 12月3日(土)～18日(日)

午前9時30分～午後5時
内容 ● 第74回一宮市美術展市長賞受賞者・依頼出品者、一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会推薦者の作品を展示します。

観覧料 ● 一般 200円
高大生 100円
小中生 50円

三岸節子記念美術館
☎(63)2892

※11月30日(木)まで、改修工事のため臨時休館しています。12月1日(木)から開館します。

常設展「三岸節子 身近な世界を見つめて」

日時 ● 12月1日(木)～4月2日(日)

午前9時～午後5時
内容 ● フランスの近代美術に学びながら、身近な世界にある様々なものをモチーフに描かれた静物画や室内画を中心に紹介します。

観覧料 ● 一般 320円
高大生 210円
小中生 110円

※市内小中学生・65歳以上無料

尾西歴史民俗資料館
☎(62)9711

特別展「美濃路起宿脇本陣林家」

日時 ● 10月15日(土)～11月20日(日)

午前9時～午後5時
内容 ● 起宿の脇本陣を務めていた林家の歴史について紹介します。

観覧料 ● 無料
歴史講座「美濃路探訪 秋～美濃編」

日時 ● 10月30日(日)

午前9時～午後5時
内容 ● 岐阜県に残る美濃路の史跡

を見学します。

定員 35名

※要参加費・要申込み。詳しくは
広報9月号を参照。

第16回もみじまつり

日時 11月26日(土)・27日(日)

午前10時～午後3時30分

(お茶会は3時まで)

内容 旧林家住宅を会場にお茶会
や山野草展、演奏会などを
2日間にわたり催します。

入場料 無料(お茶会は300円)

子ども講座「起土人形に

絵付けをしよう」

日時 12月4日(日)

午前9時30分～正午

内容 来年の干支をかたどった起
土人形に絵付けをします。

定員 10名程度

※要参加費・要申込み。詳しくは広
報11月号を参照。

中央図書館

☎(72)2343

「秋の高山まつり」屋台織物展

日時 9月13日(火)～19日(祝)

午前9時～午後6時

(19日は午後5時まで)

内容 祭り屋台を色あざやかな織
物で掛け軸にした作品を展
示します。

会場 6階 多目的室2

観覧料 無料

ステンドグラス光彩・

パッチワークキルト色彩のクラボ展

日時 10月20日(木)～31日(月)

午前9時～午後7時

内容 日本の四季をイメージした
作品を中心に、美しい光と
色を組み合わせた多彩なデ
ザイン全40点を展示します。

会場 6階 多目的室2

観覧料 無料

一宮市観光協会

☎(28)9131

第33回木曾川町一豊まつり

日時 9月18日(日)

午前10時～午後5時

内容 戦国衣装に身を包んだ山内
一豊公とその妻・お千代様
を中心にした一豊パレード
をはじめ、各種イベントを
行います。

会場 黒田小学校他

入場料 無料

素人ちんどん祭

日時 10月16日(日)

午前9時～午後4時

内容 アマチュアが参加するチン
ドンコンクールやパレード、
太鼓や大道芸のショーを行
います。

会場 萩原商店街

入場料 無料

第28回びさいまつり

日時 10月22日(土)・23日(日)

午前9時30分～午後4時

内容 十二単を着た織姫・童女が
輦台に担がれて登場する
「織姫パレード」などが行
われます。

会場 尾西庁舎周辺

入場料 無料

第40回一宮菊花大会

日時 10月30日(日)～11月6日(日)

午前9時30分～午後5時

内容 菊の愛好家が丹精こめて作
り上げた成果を一堂に展示
します。

会場 国営木曾三川公園138㍎

ワークショップ

入場料 無料

市生涯学習課

☎(85)7075

第31回国民文化祭あいち2016

「将棋フェスティバルinいちのみや」

日時 12月3日(土)

午前9時30分～午後5時

内容 こども将棋大会を始め、プ
ロ棋士との多面指し対戦や
トークショー、将棋駒の展
示、将棋駒のキーホルダー
作り体験などを実施します。

会場 尾張一宮駅前ビル(iービ
ル)、名鉄百貨店一宮店前コ
ンコース

入場料 無料

※一部要申込み。詳しくは広報10
11月号を参照。

一宮市
芸術文化協会
加入団体の
催し

『瀟聲會作詩教室』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼9月6日(火)・10月4日(火)

11月1日(火)・12月6日(火)

午前10時〜

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の作り方の指導をはじめ、持ち寄った創作詩の

添削の検討を会員間で行い

ます。(初心者歓迎)

参加料▼年3、000円

申込み▼当日直接会場

12月11日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼真清短歌会委員により実作

指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『瀟聲會定例会』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼9月24日(土)・10月22日(土)

11月26日(土) 午前10時〜

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の基本的な読み方を

はじめ、作者の時代背景に

も触れながら初めてのの方に

も分かりやすく「唐詩三百

首」を解説します。

(初心者歓迎)

講師▼三島徹氏(東洋文化振興会

会長)

参加料▼月2、000円

申込み▼当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時▼9月25日(日)・10月23日(日)

11月27日(日)・12月18日(日)

午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼当季雑詠3句を一宮市民俳

句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(77)3479

日時▼9月25日(日)・10月23日(日)

11月27日(日)・12月18日(日)

午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を一宮

川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『秋の市民俳句吟行会』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時▼10月14日(金) 午前9時〜

行先▼多度大社(桑名市)他

定員▼35人(定員を超えた場合は

抽選)

参加料▼500円(昼食は持参、ま

たは道の駅で購入も可)

申込み▼9月20日(火)までに事務局

☎連絡(85)7075

※当日、別会場で句会も行います。

『馬場獅子屋形打囃子保存会 秋祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼10月16日(日) 午後1時〜

会場▼熱田社(千秋町加納馬場)他

内容▼道行打囃子を演奏しながら

獅子屋形を曳き回します。

『曾山流樹徳吟詠会 再興三十周年記念吟詠大会』

【問合せ先 山鑿会】

☎(62)7647

日時▼10月23日(日) 午前9時45分〜

会場▼名古屋市公会堂

内容▼家元瀧澤曾遠が曾山流樹徳

吟詠会を再興し三十周年を

迎えた記念の年。中国の田

園詩人陶潜の数々の名詩の

構成吟「陶潜の心」を中心

に、吟詠発表会を行います。

入場料▼無料

『重吉甘酒祭保存会 甘酒祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼10月23日(日) 午後2時〜

会場▼八幡神社(丹陽町重吉)

内容▼神前に甘酒と強飯を供え、お神楽を奉納します。甘酒と強飯は参拝者に振るまわれます。

《県文化協会連合会の催し》

「愛知県民茶会」

期日▼11月13日(日)

午前10時～午後3時

会場▼岡崎中央総合公園

茶券▼前売券800円(2席)

当日券500円(1席)

※生涯学習課で前売りしています。

「第41回愛知県文連美術展」

会期▼11月15日(火)～20日(日)

午前10時～午後6時

(18日は午後8時まで、20日は午後4時まで)

会場▼愛知芸術文化センター

入場料▼500円(前売400円)

高校生以下無料

※生涯学習課で前売りしています。

「西尾張部芸能大会」

期日▼11月27日(日)

午後1時15分～(開演予定)

会場▼大口町民会館

入場料▼無料

当協会出演団体▼神道一刀流剣詩

舞会(吟剣詩舞部門)

舞会(吟剣詩舞部門)

お詫びと訂正

「いちのみやの芸術文化」第37号(平成28年6月)にて、一部誤りがありましたので、お詫びし訂正させていただきます。

5 管弦楽組曲「伸び行く一宮」

3 段落 冒頭の写真のタイトル

【誤】真清田神社楼門

【正】真清田神社楼門

11 加入団体の催し

4 段落 祭礼の名称

【誤】黒岩祇園祭保存会

【正】黒岩祇園祭保存会黒岩祇園祭

川祭

『加入団体の催し』欄に情報を掲載しませんか？

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体の活動情報を募集します。掲載を希望される団体は、発行月3・6・9・12月の前々月15日までに、下記の必要事項を任意の様式にて記入の上、事務局まで提出してください。

必要事項 ①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場 ⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法 ⑨その他必要事項

提出先 〒491-8501 一宮市芸術文化協会事務局 (住所不要) またはFAX 0586-73-9213

第74回

一宮市美術展

開催要項

【会期】11月17日(木)～20日(日)

午前9時30分～午後5時(金曜日のみ7時～最終日は4時30分)

【会場】一宮スポーツ文化センター

(一宮市真清田1-2-30)

【募集種目】日本画/洋画/彫刻・立体/工芸/デザイン/書/写真

【主催】一宮市・一宮市教育委員会

【作品搬入】11月12日(土)・13日(日)

午前9時30分～午後5時

【出品規定】1種目につき1人1点とし、他の公募展・コンクールに未発表の作品に限る。中学校卒業以上の年齢の者で、市内市外は問わない。

【出品料】無料

【規格】日本画▼20号以上100号以内で額入り。ヒートン及び吊ひも(又は針金を取り付けておくこと)。

洋画▼20号以上150号以内で額入り。版画は4号以上で額入り。ヒートン及び吊ひも(又は針金を取り付けておくこと)。

彫刻・立体▼制限なし。(安定して展示できる作品)

工芸▼制限なし。壁面展示の作品にはヒートン及び吊ひも(又は針金を取り付けておくこと)。

デザイン▼A2サイズ以上B1サイズ以下でパネル張り。小型はパネルに構成。ポスターフレーム可。(ポスター・イラスト・CG等表現自由)ヒートン及び吊ひも(又は針金を取り付けておくこと)。

書▼仕上がり寸法は91cm×91cm(3尺×3尺)又は半切以上176cm×48cm以下。縦横自由。枠張り又は額装。篆刻は二印以内で印影のみとし、縦39cm×横30cmとする。刻字は1㎡以内とする。規定の用紙に墨書(パソコン可)による釈文を添付すること。

写真▼全紙(長辺50cm以上)以上でパネル張り。(木製パネルに限る)額不可。ただし、組写真は半切以上2枚以内。(作品裏面で固定すること)

【作品搬出】11月20日(日)午後5時～7時(※予備日11月22日(火)午前9時30分～11時30分)

【問い合わせ先】一宮市教育委員会生涯学習課 文化グループ

☎(0586)8517075

平成28(2016)年9月

11

いちのみやの芸術文化

平成28年度

文化講演会

日本文学からみえる

この国の未来



10月15日 **土**

13:30～15:00

(開場は30分前)

一宮市尾西市民会館

(一宮市東五城字大平裏43-1)

入場無料 ※整理券が必要です
※当日は手話通訳があります

整理券

入場無料ですが、**整理券**が必要です。(満席の場合は、入場をお断りすることがあります。)整理券は9月14日(水)より本庁舎4階生涯学習課、尾西生涯学習センター(尾西庁舎)、尾西南部生涯学習センター、木曾川事務所総務管理課(木曾川庁舎)、各出張所、中央・玉堂記念木曾川図書館、一宮・尾西市民会館、一宮スポーツ文化センターで配布します。

会場アクセス

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

名鉄バス「尾西庁舎」下車徒歩1分(名鉄一宮駅バスターミナル2番のりばで「起」「西中野」「蓮池」行きに乗り約10分) / 一宮バス尾西北コース17番、尾西南コース30番「尾西庁舎」下車徒歩1分

講師

ロバート キャンベルさん

(日本文学研究者・東京大学大学院教授)

当日、ロビーにて「**いちのみや文芸2016**」(1冊800円)を販売します。

お問い合わせ先 一宮市芸術文化協会事務局(市生涯学習課内) ☎0586-85-7075(直通)

主催/一宮市教育委員会・一宮市芸術文化協会

[題字] 武山翠屋
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7075 / FAX 0586-73-9213